

GRI Standards 対照表 102-55

本データブックはGRI サステナビリティ・レポート・スタンダードを参照しています。

一般開示事項

100:共通スタンダード			
GRI 102: 一般開示事項 2016			
1.組織のプロフィール		サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
	102-1	組織の名称	●花王グループ概要(レポート外) —
	102-2	活動、ブランド、製品、サービス	●花王グループの事業分野(レポート外) —
	102-3	本社の所在地	●花王グループ概要(レポート外) —
	102-4	事業所の所在地	●花王グループ概要(レポート外) —
	102-5	所有形態および法人格	●花王グループ概要(レポート外) —
	102-6	参入市場	●花王グループ会社一覧(レポート外) —
	102-7	組織の規模	●花王グループ概要(レポート外) —
	102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	●ダイバーシティ & インクルージョン:多様な人財の活躍支援 P159
	102-9	サプライチェーン	— —
	102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	— —
	102-11	予防原則または予防的アプローチ	●化学物質:社会的課題と花王が提供する価値 P56 ●化学物質:化学物質総合管理システム P58 ●化学物質:中長期目標と実績 P60 ●保安防災:大規模災害に備えた緊急事態対応訓練 P185 ●保安防災:防災の監査/保安・防災の強化 P186 ●情報セキュリティ:社会的課題と花王が提供する価値 P208
	102-12	外部イニシアティブ	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略-:SDGsへの貢献 P13 ●各報告の「花王のアプローチ:貢献するSDGs」 ●持続可能で責任ある調達:花王ベンダーサミットを実施/サプライヤーへの満足度を調査 P146 ●情報セキュリティ:第4四半期:改善活動 P214
	102-13	団体の会員資格	— —
2.戦略			
	102-14	上級意思決定者の声明	●花王統合レポート2019:トップメッセージ —
	102-15	重要なインパクト、リスク、機会	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略-:2018年の実績 P12 ●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略-:世界のメガトレンドに定める「花王のESGコミットメントとアクション」 P15 ●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略-:花王のESGコミットメント P16-23 ●各報告の「花王のアプローチ:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会」 ●保安防災:大規模災害に備えた緊急事態対応訓練 P185 ●保安防災:防災の監査/保安・防災の強化 P186 ●リスクと危機の管理:コーポレートリスクの運営/危機発生時の体制(一例) P205 ●知的財産の保護と権利活用:具体的な取り組み P218-219
3.倫理と誠実性			
	102-16	価値観、理念、行動基準・規範	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略- P4-23 ●企業理念の実践のために P122-125 ●インテグリティ:社会的課題と花王が提供する価値/方針 P126 ●インテグリティ:具体的な取り組み P131-133
	102-17	倫理に関する助言および懸念のための制度	●インテグリティ:体制 P127 ●インテグリティ:コンプライアンス通報・相談窓口 P133

GRI Standards 対照表 102-55

100: 共通スタンダード			
GRI 102: 一般開示事項 2016			
4. ガバナンス	サステナビリティ データブック2019での該当箇所		
	102-18	ガバナンス構造	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 ● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス体制 ● コーポレート・ガバナンス: 取締役および取締役会 P9 P189 P190
	102-19	権限移譲	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 P9
	102-20	経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 ● CO ₂ : 体制 ● 化学物質: 体制 ● 容器包装: 体制 ● 品質保証: 体制 ● インテグリティ: 体制 ● 人財開発の全体像: 体制 ● リスクと危機の管理: コーポレートリスクの運営/危機発生時の体制(一例) P9 P38 P57 P80 P97 P127-128 P150 P205
	102-21	経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 P9
	102-22	最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス改革 ● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス体制 ● コーポレート・ガバナンス: 取締役および取締役会 ● コーポレート・ガバナンス: 監査役および監査役会 ● コーポレート・ガバナンス: 選任審査委員会・報酬諮問委員会 P188 P189 P190 P192 P193
	102-23	最高ガバナンス機関の議長	● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス改革 ● コーポレート・ガバナンス: 選任審査委員会・報酬諮問委員会 P188 P193
	102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス体制 ● コーポレート・ガバナンス: 選任審査委員会・報酬諮問委員会 P189 P193
	102-25	利益相反	● コーポレート・ガバナンス: 監査役および監査役会 P192
	102-26	目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 ● コーポレート・ガバナンス: コーポレート・ガバナンス体制 ● コーポレート・ガバナンス: 取締役および取締役会 ● コーポレート・ガバナンス: 監査役および監査役会 P9 P189 P190 P192
	102-27	最高ガバナンス機関の集会的知見	— —
	102-28	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	● コーポレート・ガバナンス: 取締役会の実効性評価 P191
	102-29	経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 ● リスクと危機の管理: コーポレートリスクの運営/危機発生時の体制(一例) P9 P205
	102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	● リスクと危機の管理: コーポレートリスクの運営/危機発生時の体制(一例) ● リスクと危機の管理: 2018年の実績 P205 P207
	102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: ESG推進体制 P9
	102-32	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	— —
	102-33	重大な懸念事項の伝達	● リスクと危機の管理: コーポレートリスクの運営/危機発生時の体制(一例) P205
	102-34	伝達された重大な懸念事項の性質と総数	● 保安防災: 防災の監査 P186
	102-35	報酬方針	● コーポレート・ガバナンス: 役員報酬制度 P194
	102-36	報酬の決定プロセス	● コーポレート・ガバナンス: 役員報酬制度 P194
	102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	● コーポレート・ガバナンス: 役員報酬制度 P194
	102-38	年間報酬総額の比率	— —
	102-39	年間報酬総額比率の増加率	— —

GRI Standards 対照表 102-55

100: 共通スタンダード				
GRI 102: 一般開示事項 2016				
5. ステークホルダー・エンゲージメント			サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
	102-40	ステークホルダー・グループのリスト	●ステークホルダー・エンゲージメント	P24
	102-41	団体交渉協定	—	—
	102-42	ステークホルダーの特定および選定	—	—
	102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	●ステークホルダー・エンゲージメント	P24
	102-44	提起された重要な項目および懸念	●持続可能で責任ある調達: 公衆環境研究センター (IPE) からのメッセージ ●社員との対話	P147 P165-168
6. 報告実務				
	102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	—	—
	102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	—	—
	102-47	マテリアルな項目のリスト	●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 花王のESGコミットメントとアクション ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: マテリアリティ・マトリックス	P5 P8
	102-48	情報の再記述	—	—
	102-49	報告における変更	—	—
	102-50	報告期間	●編集方針	P3
	102-51	前回発行した報告書の日付	●編集方針	P3
	102-52	報告サイクル	●編集方針	P3
	102-53	報告書に関する質問の窓口		裏表紙
	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	— (本データブックはGRIスタンダード2016、GRI303: 水と廃水2018、GRI403: 労働安全衛生2018を参照しています)	
	102-55	GRI内容索引	●GRI Standards 対照表	P225-232
	102-56	外部保証	●編集方針 ●独立保証報告書	P3 P224
GRI103: マネジメント手法 2016				
	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: マテリアリティ・マトリックス ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: バリューチェーンを通して社会に及ぼす影響 ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 花王のESGコミットメント ●各報告の「花王のアプローチ」	P8 P14 P16-23
	103-2	マネジメント手法とその要素	●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 重点取り組みテーマの選定プロセス ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 中長期目標 ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 花王のESGコミットメント	P7-8 P10-11 P16-23
	103-3	マネジメント手法の評価	●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 重点取り組みテーマの選定プロセス ●Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 中長期目標 ●各報告の「花王のアプローチ」	P7-8 P10-11

GRI Standards 対照表 102-55

マテリアルな項目

200:経済に関するスタンダード					
経済パフォーマンス			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (Z)
GRI 201: 経済パフォーマンス 2016	201-1	創出、分配した直接的経済価値	—	—	
	201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	● CO ₂ :社会的課題と花王が提供する価値/方針/体制/中長期目標と実績	P35-39	
	201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	—	—	
	201-4	政府から受けた資金援助	—	—	
地域経済での存在感					
GRI 202: 地域経済での存在感 2016	202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率(男女別)	—	—	
	202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—	—	
間接的な経済的インパクト					
GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016	203-1	インフラ投資および支援サービス	● 環境への取り組み:中国機関と協働で7年目の節水キャンペーンを実施	P34	
	203-2	著しい間接的な経済的インパクト	—	—	
調達慣行					
GRI 204: 調達慣行 2016	204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	—	—	
腐敗防止					
GRI 205: 腐敗防止 2016	205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	—	—	
	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	● インテグリティ:体制 ● インテグリティ:具体的な取り組み	P127 P131-133	
	205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	—	—	
反競争的行為					
GRI 206: 反競争的行為 2016	206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	—	—	
300:環境に関するスタンダード					
原材料			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (Z)
GRI 301: 原材料 2016	301-1	使用原材料の重量または体積	● 製品ライフサイクルと環境負荷	P92-93	
	301-2	使用したリサイクル材料	● 容器包装:具体的な取り組み ● 廃棄物:具体的な取り組み	P83-84 P90-91	
	301-3	再生利用された製品と梱包材	● 容器包装:Recycle:再生材料の利用	P85	
エネルギー					
GRI 302: エネルギー 2016	302-1	組織内のエネルギー消費量	● CO ₂ :2018年の実績 ● 製品ライフサイクルと環境負荷	P40 P92-93	
	302-2	組織外のエネルギー消費量	—	—	
	302-3	エネルギー原単位	● CO ₂ :2018年の実績	P40	
	302-4	エネルギー消費量の削減	● CO ₂ :2018年の実績 ● CO ₂ :1.使用するエネルギーを削減する取り組み	P40 P43-44	
	302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	● CO ₂ :2018年の実績	P40	

GRI Standards 対照表 102-55

300:環境に関するスタンダード					
水			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (☑)
GRI 303: 水と廃水 2018	303-1	共有資源としての水との相互作用	●水:方針 ●水:中長期目標と実績 ●水:具体的な取り組み	P50-51 P52 P54-55	
	303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	●水:方針 ●水:具体的な取り組み	P50-51 P54-55	
	303-3	取水	●水:水源別取水量の推移 ●製品ライフサイクルと環境負荷	P53 P92-93	☑
	303-4	排水	●水:放流先別排水量の推移 ●製品ライフサイクルと環境負荷	P53 P92-93	☑
	303-5	水消費	●水:水使用量(取水量)の推移(全拠点) ●水:製品使用時の水使用量の推移(日本花王グループ) ●水:製品ライフサイクル全体の水使用量の推移(花王グループ) ●製品ライフサイクルと環境負荷	P53 P53 P53 P92-93	☑ ☑ ☑
生物多様性					
GRI 304: 生物多様性 2016	304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	●生物多様性:地域の生態系に配慮した事業活動 ●生物多様性:川崎工場 第三者認証(「いきもの共生事業所® 認証(通称:ABINC 認証)」)を取得	P75-76 P76	
	304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	●生物多様性:社会的課題と花王が提供する価値 ●生物多様性:事業が生物多様性に与える影響の低減	P72 P75	
	304-3	生息地の保護・復元	●生物多様性:地域の生態系に配慮した事業活動	P76-78	
	304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—	—	
大気への排出					
GRI 305: 大気への排出 2016	305-1	直接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	●CO ₂ :スコープ1 CO ₂ 排出量の推移(千t-CO ₂ e) ●製品ライフサイクルと環境負荷	P41 P92-93	☑ ☑
	305-2	間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	●CO ₂ :スコープ2 CO ₂ 排出量の推移(千t-CO ₂ e) ●製品ライフサイクルと環境負荷	P41 P92-93	☑ ☑
	305-3	その他の間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	●CO ₂ :スコープ3 CO ₂ 排出量の推移(千t-CO ₂ e) ●CO ₂ :輸送・使用・廃棄・リサイクルにおける取り組み ●製品ライフサイクルと環境負荷	P41 P45-47 P92-93	☑(1,4,11,12) ☑
	305-4	温室効果ガス(GHG)排出原単位	●CO ₂ :2018年の実績 ●CO ₂ :輸送における取り組み	P40-41 P45	
	305-5	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	●CO ₂ :2018年の実績	P40-41	☑
	305-6	オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	●CO ₂ :3. 冷媒等の温室効果ガス漏えい量の削減	P44	
	305-7	窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	●化学物質:化学物質の排出量管理 ●製品ライフサイクルと環境負荷	P69 P92-93	☑
排水および廃棄物					
GRI 306: 排水および廃棄物 2016	306-1	排水の水質および排出先	●水:放流先別排水量の推移	P53	☑
	306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	●廃棄物:2018年の実績 ●製品ライフサイクルと環境負荷	P88 P92-93	☑
	306-3	重大な漏出	●水:環境法規制の遵守	P54	
	306-4	有害廃棄物の輸送	●廃棄物:2018年の実績	P88	
	306-5	排水や表面流水によって影響を受ける水域	—	—	

GRI Standards 対照表 102-55

300:環境に関するスタンダード					
環境コンプライアンス			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (☑)
GRI 307: 環境コンプライアンス 2016	307-1	環境法規制の違反	●水:環境法規制の遵守	P54	
サプライヤーの環境面のアセスメント					
GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント 2016	308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	—	—	
	308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	●CO ₂ :原材料購入における取り組み ●水:原材料購入における取り組み ●持続可能で責任ある調達	P42 P54 P139-146	

400:社会に関するスタンダード					
雇用			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (☑)
GRI 401: 雇用 2016	401-1	従業員の新規雇用と離職	●ダイバーシティ&インクルージョン:多様な人財の活躍支援	P159	
	401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	—	—	
	401-3	育児休暇	●ダイバーシティ&インクルージョン:就業制度の利用状況(花王(株))	P163	
労使関係					
GRI 402: 労使関係 2016	402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	—	—	
労働安全衛生					
GRI 403: 労働安全衛生 2018	403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	●労働安全衛生:方針 ●保安防災:方針/体制 ●レスポンシブル・ケア活動:国際マネジメントシステム認証状況	P177 P183 P201	
	403-2	危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	●労働安全衛生:中長期目標と実績 ●労働安全衛生:労働災害発生状況/化学物質のリスクアセスメント ●保安防災:防災の監査/保安・防災の強化/高圧ガス保安検査・監査・査察	P178 P181 P186	
	403-3	労働衛生サービス	—	—	
	403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	●労働安全衛生:教育と浸透	P178	
	403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	●労働安全衛生:教育と浸透 ●保安防災:教育と浸透 ●保安防災:大規模災害に備えた緊急事態対応訓練	P178 P184 P185	
	403-6	労働者の健康増進	●健康	P169-176	
	403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	—	—	
	403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	—	—	
	403-9	労働関連の傷害	●労働安全衛生:2018年の実績 ●保安防災:2018年の実績	P179-180 P184	☑(一部データ)
	403-10	労働関連の疾病・体調不良	●労働安全衛生:2018年の実績-業務上疾病による休業者数(人)	P180	☑(一部データ)

GRI Standards 対照表 102-55

400:社会に関するスタンダード					
研修と教育			サステナビリティ データブック2019での該当箇所		第三者保証 対象指標 (☑)
GRI 404: 研修と教育 2016	404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	●人財育成:2018年の実績	P154	
	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG戦略-:ESG 推進のための教育・啓発 ●各報告の「花王のアプローチ:教育と浸透」 ●環境への取り組み:環境教育・学習の機会 ●生物多様性:社員の意識向上・情報共有 ●企業理念の実践のために:2018年の実績 ●インテグリティ:2018年の実績 ●インテグリティ:コンプライアンス教育 ●人財育成:体制/中長期目標と実績/2018年の実績 ●ダイバーシティ&インクルージョン:2018年の実績 ●ダイバーシティ&インクルージョン:仕事と育児・介護の両立支援	P9 P30 P77 P125 P130 P132 P152-154 P157 P162	
	404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	—	—	
ダイバーシティと機会均等					
GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	●ダイバーシティ&インクルージョン:多様な人財の活躍支援 ●ダイバーシティ&インクルージョン:障がいへの理解と雇用の促進	P159 P160	
	405-2	基本給と報酬総額の男女比	—	—	
非差別					
GRI 406: 非差別 2016	406-1	差別事例と実施した救済措置	—	—	
結社の自由と団体交渉					
GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016	407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	—	—	
児童労働					
GRI 408: 児童労働 2016	408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—	—	
強制労働					
GRI 409: 強制労働 2016	409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—	—	
保安慣行					
GRI 410: 保安慣行 2016	410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—	—	
先住民族の権利					
GRI 411: 先住民族の権利 2016	411-1	先住民族の権利を侵害した事例	—	—	
人権アセスメント					
GRI 412: 人権アセスメント 2016	412-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	●人権:2018年の実績 ●人権:人権デュー・ディリジェンス プロセス	P137 P138	
	412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	●インテグリティ:コンプライアンス教育 ●人権:人権デュー・ディリジェンス プロセス	P132 P138	
	412-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	●人権:2018年の実績 ●人権:人権デュー・ディリジェンス プロセス	P137 P138	

GRI Standards 対照表 102-55

400:社会に関するスタンダード				
地域コミュニティ			サステナビリティ データブック2019での該当箇所	第三者保証 対象指標 (☑)
GRI 413: 地域コミュニティ 2016	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	●環境への取り組み:具体的な取り組み ●化学物質:ステークホルダーとの化学物質リスクコミュニケーション	P32-34 P63
	413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	—	—
サプライヤーの社会面のアセスメント				
GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016	414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	●人権:人権デュー・ディリジェンス プロセス	P138
	414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	●人権:人権デュー・ディリジェンス プロセス ●持続可能で責任ある調達	P138 P139-146
公共政策				
GRI 415: 公共政策 2016	415-1	政治献金	—	—
顧客の安全衛生				
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016	416-1	製品およびサービスのカテゴリに対する安全衛生インパクトの評価	●品質保証:具体的な取り組み ●ユニバーサルデザイン:2018年の実績 ●ユニバーサルデザイン:新しい製品安全図記号の普及	P99-100 P104 P105
	416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	●品質保証:直近3年間のリコール状況	P99
マーケティングとラベリング				
GRI 417: マーケティングとラベリング 2016	417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	●環境への取り組み:“いっしょにeco”マーク表示製品の拡大 ●環境への取り組み:環境に配慮した製品の設計 ●CO ₂ :開発における取り組み ●化学物質:環境負荷低減に寄与する代表的な製品 ●ユニバーサルデザイン:2018年の実績 ●ユニバーサルデザイン:2018年に新発売した製品におけるユニバーサルデザイン配慮 ●消費者とのコミュニケーション:体制 ●消費者とのコミュニケーション:2018年の実績 ●消費者とのコミュニケーション:ウェブサイトを活用した情報の発信	P30 P31 P43 P70-71 P104 P107 P110 P111 P112
	417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	—	—
	417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	—	—
顧客プライバシー				
GRI 418: 顧客プライバシー 2016	418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	—	—
社会経済面のコンプライアンス				
GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス 2016	419-1	社会経済分野の法規制違反	●インテグリティ:コンプライアンス違反時の対応および2018年の法令違反	P133

ISO26000対照表

中核主題と課題	サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
6.2 組織統治	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● ガバナンス	P4-23 P187-219
6.3 人権	● 人権 ● 花王 ビジネス コンダクト ガイドライン(BCG)(レポート外)	P134-138 —
6.3.3 デューデリジェンス	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● インテグリティ ● 人権 ● 持続可能で責任ある調達 ● ダイバーシティ&インクルージョン	P4-23 P126-133 P134-138 P139-147 P155-164
6.3.4 人権に関する危機的状況	● 人権 ● ダイバーシティ&インクルージョン	P134-138 P155-164
6.3.5 加担の回避	● 人権 ● 持続可能で責任ある調達 ● ダイバーシティ&インクルージョン	P134-138 P139-147 P155-164
6.3.6 苦情解決	● 消費者とのコミュニケーション ● インテグリティ	P108-112 P126-133
6.3.7 差別及び社会的弱者	● 社会貢献活動 ● ダイバーシティ&インクルージョン	P113-120 P155-164
6.3.8 市民的及び政治的権利	● インテグリティ ● 社員との対話	P126-133 P165-168
6.3.9 経済的・社会的及び文化的権利	● 社会貢献活動 ● インテグリティ ● ダイバーシティ&インクルージョン	P113-120 P126-133 P155-164
6.3.10 労働における基本的原則及び権利	● インテグリティ ● 人財開発の全体像 ● 人財育成	P126-133 P148-150 P151-154
6.4 労働慣行		
6.4.3 雇用及び雇用関係	● インテグリティ ● ダイバーシティ&インクルージョン	P126-133 P155-164

中核主題と課題	サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
6.4.4 労働条件及び社会的保護	● 社員との対話	P165-168
6.4.5 社会対話	● 社員との対話	P165-168
6.4.6 労働における安全衛生	● 労働安全衛生 ● 保安防災 ● レスポンスシブル・ケア活動	P177-182 P183-186 P195-201
6.4.7 職場における人材育成及び訓練	● 人財育成	P151-154
6.5 環境		
6.5.3 汚染の予防	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● 環境への取り組み ● 水 ● 化学物質 ● 廃棄物	P4-23 P27-34 P48-55 P56-71 P86-91
6.5.4 持続可能な資源の利用	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● 環境への取り組み ● 水 ● 生物多様性 ● 持続可能で責任ある調達	P4-23 P27-34 P48-55 P72-78 P139-147
6.5.5 気候変動緩和及び適応	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● 環境への取り組み ● CO ₂	P4-23 P27-34 P35-47
6.5.6 環境保護・生物多様性・及び自然生息地の回復	● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG 戦略 - ● 環境への取り組み ● 生物多様性 ● 持続可能で責任ある調達	P4-23 P27-34 P72-78 P139-147
6.6 公正な事業慣行		
6.6.3 汚職防止	● インテグリティ ● コーポレート・ガバナンス	P126-133 P188-194

ISO26000対照表

中核主題と課題	サステナビリティ データブック2019での該当箇所
6.6.4 責任ある政治的関与	●インテグリティ P126-133
6.6.5 公正な競争	●インテグリティ ●コーポレート・ガバナンス P126-133 P188-194
6.6.6 バリューチェーンにおける社会的責任の推進	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG 戦略- ●消費者とのコミュニケーション ●インテグリティ ●持続可能で責任ある調達 ●コーポレート・ガバナンス P4-23 P108-112 P126-133 P139-147 P188-194
6.6.7 財産権の尊重	●インテグリティ ●知的財産の保護と権利活用 P126-133 P215-219
6.7 消費者課題	
6.7.3 公正なマーケティング・事実即ち偏りのない情報・及び公正な契約履行	●消費者とのコミュニケーション ●持続可能で責任ある調達 P108-112 P139-147
6.7.4 消費者の安全衛生の保護	●品質保証 ●消費者とのコミュニケーション P96-100 P108-112
6.7.5 持続可能な消費	●エコロジー ●容器包装 ●消費者とのコミュニケーション P26-94 P79-85 P108-112
6.7.6 消費者に対するサービス・支援・並びに苦情及び紛争の解決	●品質保証 ●消費者とのコミュニケーション P96-100 P108-112
6.7.7 消費者データ保護及びプライバシー	●インテグリティ ●情報セキュリティ P126-133 P208-214
6.7.8 必要不可欠なサービスへのアクセス	●消費者とのコミュニケーション P108-112

中核主題と課題	サステナビリティ データブック2019での該当箇所
6.7.9 教育及び意識向上	●環境への取り組み ●品質保証 ●ユニバーサルデザイン ●消費者とのコミュニケーション ●社会貢献活動 P27-34 P96-100 P101-107 P108-112 P113-120
6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	
6.8.3 コミュニティへの参画	●Kirei Lifestyle Plan -花王のESG 戦略- ●エコロジー ●コミュニティ ●コーポレート・カルチャー ●環境への取り組み ●生物多様性 P4-23 P26-94 P95-120 P121-186 P27-34 P72-78
6.8.4 教育及び文化	●コミュニティ ●環境への取り組み ●生物多様性 ●社会貢献活動 P95-120 P27-34 P72-78 P113-120
6.8.5 雇用創出及び技能開発	●社会貢献活動 P113-120
6.8.6 技術の開発及び技術へのアクセス	●エコロジー ●コミュニティ P26-94 P95-120
6.8.7 富及び所得の創出	●コミュニティ ●コーポレート・カルチャー P95-120 P121-186
6.8.8 健康	●社会貢献活動 ●健康 P113-120 P169-176
6.8.9 社会的投資	●エコロジー ●コミュニティ ●コーポレート・カルチャー P26-94 P95-120 P121-186

TCFD インデックス

本報告書は、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言で推奨されている開示項目を参照しています。

ガバナンス

提言:気候関連のリスクおよび機会に係る組織のガバナンスを開示する。		
推奨される開示内容	サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
a) 気候関連のリスクおよび機会についての取締役会による監視体制	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:体制 ●水:体制 ●リスクと危機の管理:体制 	P38 P51 P204
b) 気候関連のリスクおよび機会を評価・管理する上での経営者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:体制 ●水:体制 ●リスクと危機の管理:体制 	P38 P51 P204

戦略

提言:気候関連のリスクおよび機会がもたらす組織のビジネス・戦略・財務計画への実際の、もしくは潜在的な影響を、情報が重要な場合は開示する。		
推奨される開示内容	サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
a) 組織が識別した、短期・中期・長期の気候関連のリスクおよび機会	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 ●水:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 	P36 P49
b) 気候関連のリスクおよび機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 ●CO₂:中長期目標と実績 ●水:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 ●水:中長期目標と実績 	P36 P39 P49 P52
c) 2°C以下シナリオを含む、さまざまな気候関連シナリオに基づく検討を踏まえた、組織の戦略のレジリエンス	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 ●水:「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスクと機会 	P36 P49

リスク管理

提言:気候関連リスクについて、組織がどのように識別・評価・管理しているかについて開示する。		
推奨される開示内容	サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
a) 組織が気候関連リスクを識別・評価するプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:体制 ●水:体制 ●リスクと危機の管理:方針 ●リスクと危機の管理:体制 	P38 P51 P203 P204
b) 組織が気候関連リスクを管理するプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:体制 ●水:体制 ●リスクと危機の管理:方針 ●リスクと危機の管理:体制 	P38 P51 P203 P204
c) 組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するプロセスが組織の総合的リスク管理にどのように統合されているか	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂:体制 ●水:体制 ●リスクと危機の管理:方針 ●リスクと危機の管理:体制 	P38 P51 P203 P204

TCFD インデックス

指標と目標

提言:気候関連のリスクおよび機会を評価・管理する際に使用する指標と目標を、そのような情報が重要な場合は開示する。			
推奨される開示内容		サステナビリティ データブック2019での該当箇所	
a)	組織が、自らの戦略とリスク管理プロセスに即して、気候関連のリスクおよび機会を評価する際に用いる指標	<ul style="list-style-type: none"> ● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 中長期目標 - よりすこやかな地球のために ● CO₂: 中長期目標と実績 ● 水: 中長期目標と実績 	P11 P39 P52
b)	スコープ1、スコープ2および当てはまる場合はスコープ3の温室効果ガス(GHG)排出量と、その関連リスク	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂: 2018年の実績 - スコープ1,2,3 CO₂排出量の推移 	P41
c)	組織が気候関連リスクおよび機会を管理するために用いる目標、および目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ● Kirei Lifestyle Plan - 花王のESG戦略 -: 中長期目標 - よりすこやかな地球のために ● CO₂: 中長期目標と実績 ● 水: 中長期目標と実績 	P11 P39 P52